

事例⑧

ことばの教室に通う児童が、
見通しをもち、楽しみながら学ぶことのできる学習活動の工夫

授業づくりの視点

- ② 主体的な学びを促す
「分かって動ける」授業づくり

◆経験の浅い先生たち、学級でこんなこと感じていませんか？

- 「もっとやりたい！」と意欲をもたせる学習展開をつくるにはどうすればよいでしょう。
- 学習の土台をつくるための学習活動は、どのように工夫すればよいでしょう。

◆例えば、「自立活動」で、こんなことから始めてみましょう。

ファーストステップ！

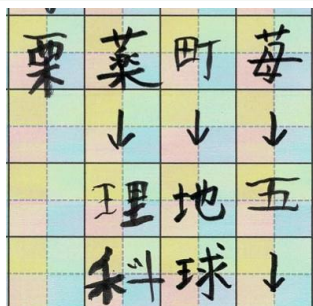
- 自立活動「バランスよく字を書こう」 □ 小学校 □ ことばの教室（通級指導教室）

本時（通級における課題学習）の目標

- ・文字が与える印象を意識し、マスの中にバランスよく字を書くことができる。
- ・語彙を増やし、コミュニケーション能力の向上を目指す。

ファーストステップ②

- ・ポイント制を取り入れるなど、ゲーム性を高め、「もっと、書きたい！」という気持ちを引き出しましょう。
- ・バランスよく丁寧に書く意識を高められるよう、カラーマスなど用具を工夫しましょう。



	学習活動	手立て／留意点
導入	(0) 日常会話（本時の流れ含む） (1) ウォーミングアップ まちがい探し（見る力+伝える力の育成）	・学習活動を4つのパートで構成する。
展開	(2) 教科学習～分数のたし算 (3) <u>課題学習～「書いてしりとり」</u> <u>（書字トレーニング）</u>	・用具の工夫 （カラーマス・ペン） ・既習漢字を積極的に活用するためのルール設定
終末	(4) ことば遊び～伝える力+語彙を増やす	

ファーストステップ①

- ・児童の不安感を和らげ授業に対する見通しをもてるよう、通級による指導の学習活動をパターン化したり自己決定の場面を設定したりするなど学習展開を工夫しましょう。

ファーストステップ③

- ・リラックスした雰囲気の中で、コミュニケーション能力の向上を図ることができるように、授業者は児童が自分の思いや考えを発するまで待ちましょう。
- ・児童が楽しみにしている活動を学習活動の終末に設定するなどして、児童がモチベーションを最後まで保てるよう工夫しましょう。